

現地メディア向けプレスツアーを行いました

2024年7月10日

7月10日、現地メディア向けプレスツアーを実施し、新聞・テレビ等5社7名のジャーナリストとカメラマンが参加しました。このプレスツアーは、マラウイ・日本国交樹立60周年を記念して、日本の開発協力が現地メディアで取り上げられる機会を増やすとともに、マラウイの政府関係者、知識層およびマラウイ国民への情報発信を強化するためのものです。プレス一行は、リロングウェ郊外を訪問し、「カムズ国際空港ターミナルビル拡張計画」、「リロングウェ県ムスンガ小学校整備計画」、「市場志向型小規模園芸農業推進プロジェクト」の視察を行いました。

【カムズ国際空港ターミナルビル拡張計画ほか】



整備された空港ターミナル



管制施設内部の様子

カムズ国際空港に対しては、1982年に円借款による空港建設以来、我が国は、2020年の大規模増改修、航空管制官への技術協力、空港施設の維持管理など累次にわたる協力を実施してきました。プレスツアー当日は、各施設への訪問や設備のデモンストレーションが実施され、関係者に対するインタビューが行われました。

【リロングウェ県ムスンガ小学校整備計画】



整備された校舎



校舎内部の様子

首都リロングウェ郊外のムスガ小学校では、2022年度「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を通じて、教室、トイレ、女子更衣室を整備しました。プレスツアーでは、代表生徒によるスピーチ、主任教諭や生徒へのインタビューが行われました。

【市場志向型小規模園芸農業推進プロジェクト】



インタビューに答える農家



収入が向上した農家

マラウイでは、国民の大部分が農業に従事していますが、自給自足的な農業からの脱却が大きな課題となっています。そこで、JICA は、技術協力案件「市場志向型小規模園芸農業推進プロジェクト (MA-SHEP)」を実施してきました。農家訪問では、農家グループによるプロジェクト説明および成果のプレゼンテーションが行われました。

【報道】

プレスツアー後、各紙・各テレビでは次々と我が国開発協力の取組が報道されました。マラウイ国民の我が国開発協力事業への理解もより一層深まったのではないかと思います。

プレスツアー後にリリースされた報道

7月11日 ゾディアック・ニュース

7月12日 MBCニュース

7月14日 タイムズTV

7月16日 タイムズ紙 DCA navigation fee collection doubles

(邦訳：空港会社、収入も倍増)

<https://times.mw/department-of-civil-aviation-navigation-fee-collection-doubles/>

7月20日 ニヤサ・タイムズ Japan pledges continued support in various sectors

(邦訳：日本、様々な分野で継続的な支援を約束)

<https://www.nyasatimes.com/japan-pledges-continued-support-in-various-sectors/>